

2026年5月29日

各位

株式会社北海道銀行

**医療法人 大曲ファミリークリニックと  
ほくほくサステナブルファイナンス(ソーシャルローン型)を契約締結**

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、医療法人 大曲ファミリークリニック（理事長 日高 輝夫）と「ほくほくサステナブルファイナンス（ソーシャルローン型）」※の契約を締結しましたのでお知らせいたします。

（※）[2023年9月1日付「ほくほくサステナブルファイナンスの取扱開始について」参照](#)

## 記

## 1. ソーシャルローンについて

企業の社会的課題（衛生・福祉・教育など）の解決に向けたソーシャルプロジェクトをご支援するための融資手法です。資金用途はソーシャルプロジェクトの充当に限定され、資金の追跡管理や融資実行後のレポートを通じた透明性の確保などの特長を有しております。

## 2. 本ローンの概要

借入人	医療法人 大曲ファミリークリニック
融資金額	315百万円
実行日	2026年5月29日（金）
資金用途	新クリニック建設資金
貸付人	北海道銀行
第三者評価	ローン・マーケット協会（LMA）「ソーシャルローン原則2025」との適合性について、株式会社日本格付研究所（JCR）より、JCRグリーンローン総合評価「Social 1 (F)」とする評価レポートを取得しております。

## 3. 医療法人 大曲ファミリークリニックについて

医療法人 大曲ファミリークリニックは、1991年に北海道北広島市で開院し、年中無休で診療を行う地域密着型の診療所を運営されています。診療科目は内科、小児科、外科の3つの診療科と発熱外来を設置するほか、第二種協定指定医療機関に指定されています。新興感染症の発生・蔓延の際に、北海道知事と医療措置協定を締結し、発熱外来の設置や自宅療養者への医療提供を行うなど、地域医療を支えている貴重な医療機関です。

1991年の開院以来、社是に掲げている「地域貢献」のもと、地域医療に貢献するため、良質な医療提供を行っております。患者第一として科の垣根を越えた診療や、医療技術の進歩に合わせ、効果的な医療技術を取り入れるなど、地域に密着した医療サービスを提供しております。

本ローンで調達した資金は、既存クリニック隣接地における「新クリニック建設資金」に充当し、2027年4月の開業を予定しております。本件は、地域医療体制の強化および医療アクセス維持に資するソーシャルプロジェクトとして位置づけられ、地域課題の解決に資する取り組みです。開業後の発熱外来では、患者・医療従事者双方の心理的・時間的負担を考慮したうえで、診療所内で診療可能な設備・導線を整備する予定です。また、初期医療機関としての病診連携を確立することで、地域医療における持続性と効率性の向上を図るとともに、かかりつけ医機能の強化を通じ、より一層地域に根差した医療機関として地域医療への貢献が期待されます。

#### 4. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。  
ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道銀行 経営企画部 サステナビリティ推進室 北谷 Tel(011)233-1009  
経営企画部 広報CSR室 坂野 Tel(011)233-1005